



若竹通信

第63号



平成28年10月31日発行
徳島県立新野高等学校

「みんなで創りあげた新高祭!」「みんなで盛り上がった体育祭!」

第2学期は「新高祭」や「体育祭」などの学校行事が目白押し!!新高祭は、クラスや部活動などの「持ち場」で、一生懸命に協力して準備をしている光景が連日連夜見られ「おっ!やってるな!」と声をかけたり、何か自分の高校時代の文化祭準備を彷彿させました。新高祭は高校生だけでなく関係団体や保護者など、みんながそれぞれの会場で協力して、趣向を凝らした展示や模擬店を展開しています。新高祭当日(10月2日)は、天候もこの頑張りを応援してくれるかのように、台風が接近しているにもかかわらず「晴天」で大盛況でした。体育祭は次の日に計画していましたが、台風18号の影響で雨天となり、10月7日に順延しました。今年の体育祭は、今までのチームの組み方(クラスに関係なく東西南北でチームを結成)とは変更し、9クラスをクラス単位で3チームに結成しました。クラス単位で活動できることになったので、準備や選手の選考などがスムーズにできました。体育祭もまた天候に恵まれ、抜群のグラウンドコンディションのもと、生徒も教職員も一生懸命!いっぱい笑顔で、心に残る良い体育祭ができました。

生徒の皆さんは、この2つの大きな学校行事を「ターニングポイント」として、今後の高校生活を「前向きに」「真面目に」そして「一生懸命に」努力をして、素敵な社会人になれるよう頑張ってください。

平成28年度

新高祭

記録より記憶に残せ新高祭!

～きらめく汗はきらめく思い出へ～

前日祭

10月1日(土)

「記録より記憶に残せ新高祭!～きらめく汗はきらめく思い出へ～」のテーマのもと、新高祭が開幕しました。前日祭では、音楽部による演奏や手話コーラス、歌やダンスなどが披露されました。先生方による歌や踊りも加わり、温かい雰囲気の中、大いに盛り上がりました。



文化祭

10月2日(日)

文化祭では、各クラスや部活動、PTAなど11の模擬店と、阿南支援ひわさ分校作品交流展など6つの展示、生徒会主催の子ども広場など、他4つのイベントが行われました。多くの地域の方々が来場くださり、生徒たちは協力して調理したり販売したりしました。



体育祭

10月7日(金)

体育祭が雨天延期の後、絶好の秋晴れのもと、本校グラウンドで行われました。今年はクラス単位で3つのチームに分かれ、優勝を競い合いました。まり入れや長縄跳び、14人15脚やリレーなどクラス対抗種目を増やし、どのクラスも一丸となって頑張りました。各チームで団旗も作成する中、チームの団結力や自主性も磨きました。31HR・22HR・13HRのチームAが優勝し、3日間の新高祭は幕を閉じました。



求人状況

本年度の求人状況は例年になく、県内外ともに多い求人数であった。生徒たちにとっては、希望する企業に挑戦するチャンスが広がった。企業訪問では次のような要望が多かった。

①服装、頭髪など、学校のルールをきちんと守る生徒。(ピアスは駄目) ②学校でしなければならない勉強をきちんとする生徒。③注意をきちんと受け止めることのできる生徒。

学校行事、資格試験、部活動、実力テスト、中間・期末テストそして授業など、それぞれ学校生活に取り組み、一生懸命に取り組むことのできる生徒を企業は求めている。

	県内	県外
求人社数	67社	380社
求人数	95人	562人

(9月30日現在)

中学生体験学習

8月4日

生徒会による学校紹介・部活動紹介に引き続き、3つの講座を体験していただきました。参加中学生からは「総合学科で自分のやりたいことを見つけることができそうだと思います」「自然がすごく多くてあたたかい学校だと思いました」など多くの感想が寄せられました。また、来年度入学生から着用する新しい制服のアンケート投票も実施しました。



ローラー資格取得

9月6・7日

「課題研究Ⅱ」授業選択者がローラー資格取得に取り組みました。2日間の講義と実技を生徒たちは真剣に受講しました。



保育実習

9月27日



3年次生「子どもの発達と保育」選択者15名が、新野幼稚園・新野保育所で保育実習（今年度2回目）を行いました。

前回の経験を生かして紙芝居やダンスを考え、子どもたちの前で演じました。1時間という短い時間でしたが、貴重な経験をすることができました。



6次産業化プロデュース事業

新野高校・阿南工業高校・小松島西高校勝浦校・富岡東高校の4高校の生徒が本年度、連携して地元の農産物を利用した6次産業化に取り組んでおり、農業・工業・商業関係の学科がある各校がそれぞれ専門性を生かし、香酸化柑橘の「ゆこう」を原料にして新たな特産品づくりをしています。



新高祭では、ゆこうシロップの試飲をして、来場者にアンケート調査を実施しました。みんなで知恵を出し合い、地域の活性化に繋がればと思います。



1年次 企業見学

「産業社会と人間」の授業（月曜日の5・6時間目）で企業見学を実施しました。地域にある身近な会社をとおして、企業と生活の連携を感じ取り、さらに進路選択の参考にすることができました。

9月12日(月) 大塚製薬ワジキ工場

ワジキ工場では、会社説明を聞き、カロリーメイトの生産工程など見学しました。



生徒たちは疑問に思ったことを質問したり、大変興味深い様子でした。



9月26日(月) 日亜化学工業株式会社

日亜化学では、モニターをとおして会社の様子やLEDについて学びました。またグループごとの簡単な実験に取り組み、アクティブな活動を行うことができました。



「中・高生による人権交流事業」活動報告

第1回南部ブロック生徒部会

7月25日(月) みなと高等学園にて

小松島高校以南を南部ブロックとする本年度最初の生徒部会に、45名の中高生が集まりました。本校からは「すだちの会」から9名が参加しました。最初は緊張した様子でしたが、ペアになっての自己紹介、ボードを使ってのクイズなど、進んでいくうちに心もほぐれ、賑やかになっていきました。「今までに心に残った人権課題」についてたくさん意見を出しあったあと、その中から本年度自分たちが取り組みたいテーマを選びました。本年度は「いじめについて」考えていくことに決まりました。



第2回南部ブロック生徒部会

8月6日(土) 新野高等学校にて

本校で開催され、21名の中高生が来校されました。71年前の8月6日は広島で原爆が投下された日でした。最初にみんなで手をつなぎ、亡くなられた方々へ黙祷をしました。

アイスブレイキングでは自分たちで考えた「新野高校クイズ」をみんなで楽しみました。一生懸命考えてくれて、参加した5名のすだちの会のメンバーは一気に元気がでました。その後、グループに分かれて「みんなはいじめについてどう思うか」「身のまわりにはどんないじめがあるか」「どんなことがいじめになるのか」について考え、たくさんの「気づき」がありました。



南部ブロック生徒研修会 8月23日(火) 富岡東高等学校にて

本校からの6名も含め28名が参加しました。阿南市青少年健全育成センターのいじめ対策チーム班長の生杉孝晴さんを講師にお招きし、「いじめについて考える～私たちができること～」と題したご講演をしていただきました。いじめの場面について架空のシナリオを代表の6名が演じ、それを見て、自分たちができることについてグループで深く考えることができました。



★阿南市「身元調査お断り」ワッペン運動

8月25日(木) 富岡東高等学校・フジグラン阿南店にて

本校からは2名が参加し、阿南市の中学生、高校生を中心に、保護者、教員、約60名での啓発活動となりました。阿南市のイメージアップキャラクター「あななん」も登場し、お買い物に訪れた皆さんにグッズを配りながら、「身元調査がなぜいけないのか」を伝えました。



第3回南部ブロック生徒部会 9月17日(土) 小松島高等学校にて

今回は、小松島高等学校演劇部のみなさんによる劇『チェンジ・ザ・ワールド』（石原哲也さん作）を鑑賞しました。本校からは5名が参加しました。演劇部の皆さんの熱演に引き込まれ、一人一人が「いじめ」について深く考えることができました。座談会ではみんなが互いに心を開き、語り合い、有意義な時間を過ごすことができました。

今後の予定

- 第2回生徒部会(県全体) 11月3日(木)
- 第4回生徒部会(南部) 11月13日(日)
- 第5回生徒部会(南部) 12月11日(日)
- 第6回生徒部会(南部・県リハーサル) 12月17日(土)
- ★人権交流集会(県全体) 12月18日(日)

これからは、12月18日(日)の交流集会本番に向けて、オリジナルのシナリオづくりに取り組みながら、「いじめを少しでもなくしていけるよう」行動を起こしていこうとしています。